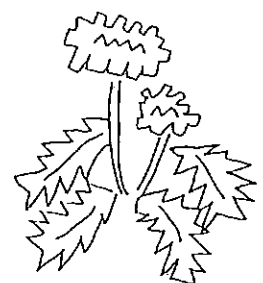


たんぽぽ

NO 130

H10年4月1日
— 発行 —

〒869-1217
熊本県菊池郡
大津町森54-2
社会福祉法人
三気の会
三気の里
☎096-293-8100



お洒落

施設長 田中 稔

施設への通勤の道々に、色とりどりの草、木の花が一斉に咲き、通勤の時間を忘れさせてくれます。芽吹き季節を迎えて自分の存在を精一杯主張し、お洒落を楽しんでいるように見えます。

施設の花も、サザンカ、梅、椿スイセン、れんぎょへと移って来ました。園生の成人の記念に植えた桜が、やがてこの時期を飾ってくれるようになるのを楽しみにしています。(枝を折られているものもあるのですが)次は、大津町の町花でもあるツツジが今年はどれくらい咲いてくれるかです。

「三気の里」の園生の平均年齢は、二七、八歳です。今、青春真っ盛りの青年たちです。最近街で見かける若い人達の装いを見ていますと、一人一人が個性にあふれたお洒落を楽しんでいる様子に、皆

上手だなと感心させられます。

そういう目で園生の装いを見えますと、いささかセンスに欠け、現代風ではないように思います。保護者が選んだものと思えますが多くの保護者は、私と同様に今のセンスに欠けるようです。

平成一〇年度の事業計画書の中の指導員の役割表で初めて従来あった生活課を二つに分けました。保健と生活です。各班一人づつ若い指導員が生活担当になりました。園生の中には、擦り切れた、色が変わってしまった下着やパジャマ、靴下等の衣類を何年にもわたって着続けている子もいます。今回の役割表の変更は、若い指導員の

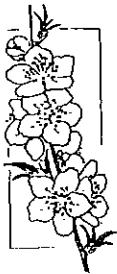
センスで園生に今風のお洒落を楽しませてあげたいというねらいがあります。又、保護者へも積極的にアドバイスをさせていただくつもりです。今回、ある事が切っ掛けで園生

に出ている年金の保管、使われ方について調べさせていただきました。年金が本人の為に生かされるという本来の趣旨に反して、兄弟や第三者に私化されるという事も起きかねない状況が分かってきました。

潤いのある、今風のお洒落も楽しめる、その為に年金等が生かされる、その様な事を考慮しながら園生の生活に関わっていきたいと思います。

自閉症児者施設連絡協議会

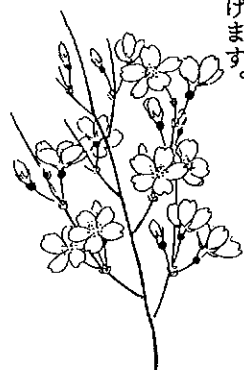
松田 健

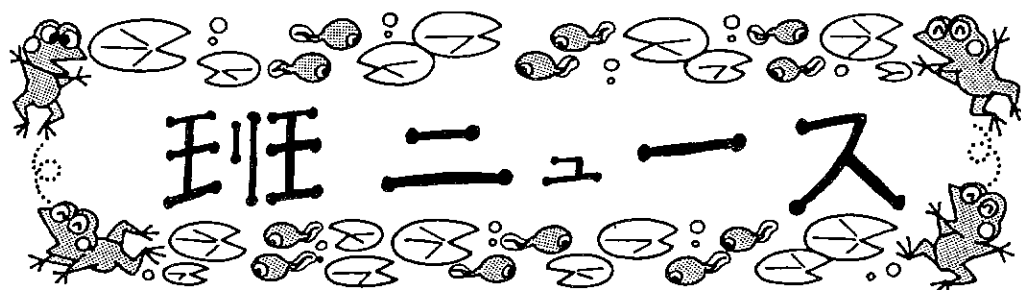


3月5、6日と平成9年度九州、山口自閉症児者施設連絡協議会(職員研修会)に参加するため鹿児島県の塚脇学園に出張させていただきました。一日目は、園芸班、木工班、陶芸班に別れて作業に参

加しました。私は、陶芸班に入り一緒に作業を行いました。陶芸をすることは初めてなので大丈夫だろうかと不安でしたが職員の方、また、園生の方が懇切丁寧に教えてくれました。テレビなどでしか見たことのなかったロクロを實際に見て、実体験できたこと、しかも、園生の方が何度も励ましてくれたことが強く印象に残っています。できた作品はとても褒められるものではありませんがお陰で陶芸の楽しさと難しさを体験することができました。次に、園生による器楽合奏、太鼓演奏を聴きました。特に、太鼓演奏は一年足らずでしかも週一回の練習でこれほど上手になれるものかと感銘しました。心に響く音色でした。

懇親会、二日目の処遇研修会と最後まで細かな気配りをしていただき福永園長はじめ職員の皆様、本当にお世話になりました。紙面からではありませんが厚く感謝申し上げます。





1班 ニュース

1班・咲いた咲いた

白蓮、菜の花、桜と春の花が次々に咲き、その姿、香りでわたしたちを楽しませてくれています。色とりどりの花を見ていると、1班のみんなの中で花開いたことが思い浮かんできました。入所して1年が経った麻衣ちゃんは、歯磨きや掃除の場面から逃げ出そうとしなくなったし、「麻衣ちゃん待つ」「おいで」といった言葉かけにパッと振り返り、戻ってこれるようになりました。同じく1年目の洋一君、こちらは自分で洗濯したり80人分の洗濯物仕分けをするメンバーとして参加したりといろんなことにチャレンジしました。また、他の班から移動してきたメンバーで、賀文君はほっぺの力が抜けて上奥歯の歯磨きが上手になり、磨きにくいのが上前歯だけとなりました。よっちゃんは作業棟ではずっと落ち着いていることができたし、鶏のえさやりも怖がらずにできるようになりました。まっちゃんはパッキン一筋で職人のようにきれいな製品をたくさん作ってくれましたし、お出掛けに連れてっての意思表示も多く見られるようになりました。もちろん他の園生にも花開いたことがあってここには書き切れないほど…、みんな前進してるなーってウキウキしてきます。毎日の生活や作業は楽しいことばかりではないけれど、どんな小さな花が咲いたことも見逃さず、喜び合っていきたいものです。

3月一杯で、英輔君が4班へ、楳本指導員が2班へ移動することになりました。これからも2人が、それぞれの班でたくさんの花を咲かせてくれると期待しています。 平川

4班・春風に吹かれて…

また今年も新しい春がやって来ます。少しづつ前へ進んで近づいてみては、少し戻ってみたり。もう明日にでもポカポカの春がくるかも…と思いつつもなかなかやって来てくれない“春”という名の不思議な訪問者を、今年もまた待ちわびているこの頃です。心地良く吹き抜ける、あったかいけど少し冷たい風に一緒に飛ばされたい気分です。“春”は芽吹き季節で、様々な木々や植物が芽を出します。そう、農耕班の「これから」を左右するとっても大事な時が、今この素敵な時なのです。ハウレン草と大根の収穫に追われていた日々も少し速ざかり、いよいよスタートです。そのスタートに今年私は不参加です。決してサボっているのではなく、別の新天地でスタートすることになり、ただ今位置についているところなのです。先日、そんな私と同じく4月から新しい班へ移ることになった光紀くん・功一くん・憲吾くんの4人の送別会を兼ね、皆が豪華な食事会を催してくれました。代表して挨拶をした私はちょっぴり照れくさく、そしてちょっぴり切なく、らしからぬうつむき加減でしばし過ごしました。反面、他の3人とみんなは明るくにぎやかで“これでもか!”と食べまくり、威勢良く、そして農耕班らしく私たち4人の背中を後押ししてくれました。力強かった皆の笑顔、大好きです。

なかなか面と向かってお礼が言えません。この場をお借りして農耕班の皆、そして職員の皆さん、そしてそしてお父さん、お母さん…感謝、感謝です。大好きです。“3つ子の魂100まで”…4歳になる私は、新しい班でもきっと頑張れます。 麻生由

3班・木工班の皆さんへ

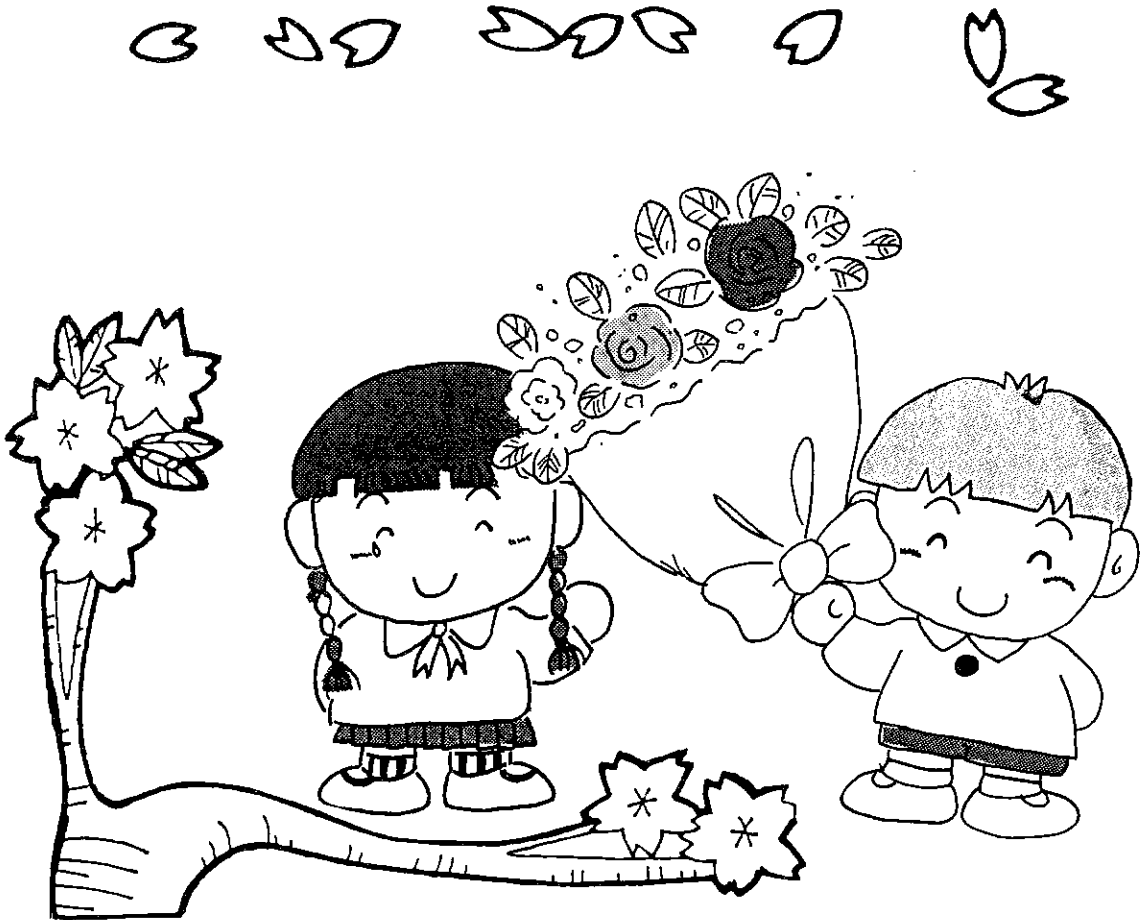
今年の桜の開花1号は熊本というニュースが流れた日、木工班の皆さんが私の送別会を開いてくれましたね。阿蘇のペンションでの食事会、おいしかったですね。みんなのマナーが良かった事、残さず食べていた事、職員みんなで喜んでいて気付いていましたか？毎回、必ず成長したところを披露してくれますね。

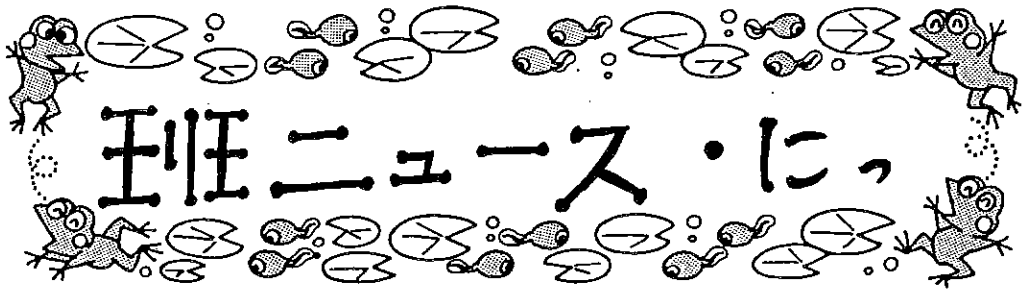
8年の間で、木工班の作業棟も変わり、作業内容も少しづつ変わりましたね。レクリエーションでいろいろな所にも行きましたね。三気の里にいなかったら、行くこともなかったかもしれないと思う場所が沢山あります。レクリエーションで、私のNo. 1は1週間の与論島旅行です。泳いで、泳いで、泳いだ1週間。汚れたように真っ黒に日焼けしましたね。木工班が作った記録（旅行日数、飛行機の乗り継ぎ）は、まだどこの班も破ってはいませんよ。去年の宮崎旅行も楽しかったですね。豪華なホテルに泊まって、おいしい食事、スペシャルコースでみんな大喜びでしたね。みんなの喜んでいる姿を見てこの旅行を計画して良かったと思いました。心配した朝食バイキングも、上手にできて職員をびっくりさせましたね。みんなと一緒にだったから楽しかった。みんなと一緒にいったレクリエーション、一緒に頑張った作業はいい思い出です。

三気の里の皆さん、木工班の皆さん、すてきな思い出を、沢山の笑顔をありがとう。

私の大好きな三気の里のみんなの幸せを願っています。

今村





2班・拜啓2班のみなさん

さァ、またまた年度末が近づいて来ました。今年度を振り返って、2班のみなさんにとって、どんな1年でしたか。

4月。園生16名、職員5名でスタートしたネット作業でしたが、毎日が緊張の連続でしたよね。何を緊張するかって？それは職員の気持ちなんだけど…あまり大きな声では言えないけれど、例えば物が飛んでこないか、パニックが起きないか、などなど。そんな中、幸恵ちゃんが心臓の大手術を受け、成功して元気に戻って来た事はみんなの励みになったよね。それから7月。予定していた宿泊レクが大雨で中止になった時の事覚えてますか？3日間作業棟で、ほか弁やカップラーメンを食べて過ごしたよね。10月。やっと宿泊レクへ行けたけど、園生、職員共に体調不良者続出で無事に帰園できた事がなによりだったね。そして、3月。気づけば緊張なんてどっかへ行き、いつしかみんな黙々とネットに励むプロになっていたよね。ほんと、気づくとみんなそれぞれできる事が増えていたよね。一人で作業を始める、ネットの口をそろえる、袋詰めをする、目標のカゴいっぱいセットする、作業前にみんなの机の台拭きをする、おやつを一人でとりに行く、などなど。みんなが、やればできるといふ事を証明してくれたよね。

そんなみんなの努力と笑顔に励まされながら、職員も成長することができました。今日は、2班のみなさんへの感謝状をこめて、ちょっと照れくさいけど、これを手紙として送りたいと思います。

佐藤

5班・春

畦道を歩いていると、つくしが土の中から顔を出してきているのを見た時「春だなぁー」と感じてしまった私。皆さんはいかがお過ごしでしょうか？

さて、春といたらお別れの時期私達園芸班からも旅立つ園生・職員がいます。まず園生では5年間園芸班で作業を頑張ってきた柴田君4月からは3班へ、次に去年の11月に入ってきた榎木さんやと園芸の作業に慣れてきたのですが4月からは農耕班へ移動することになりました。

また職員の方では、4年間園芸班で頑張ってきた国岡指導員が3班へ、去年の8月に正職になられ5班と一緒に作業してきた八木指導員が2班へ移動になりました。国岡指導員・八木指導員とも作業にも熱心に取り組み、また指導面でも優しく時には厳しく園生からも慕われていました。そんな方が園芸班から去られると思うと淋しくて仕方ありません。しかし班は違っていても同じ生活をしていますのでいつでも声をかけてください。

柴田君・榎木さん・国岡指導員・八木指導員、園芸班での作業おつかれさまでした。4月からは新しい班で頑張ってください。淋しくなったりした時は、園芸班での作業の事を（特に真夏の草取りの事を）思い出してください。手が空いていらっしやったらお手伝いでも…麦藁帽子を用意しております。（笑）

緒方

新年度の時季

田之上健一

日常の生活の中で、何か全体的に騒がしく落ちつかなく感じる時がある。みんな調子崩してるんじゃないかと心配する。

季節的なものがあるのか、春先や秋ごろは不思議と全体的に落ち着きを感じられなくなる。なぜかは解らないが色々な要因があるのだろう。一概に季節的なものと片付けるには無責任であるが、健常者でも何かうきうき興奮するものがあったり、もの悲しさを感じるという時季でもある。そう思うと同じなのかなとも考える。ただ我慢する力（抑制力）や表現力の欠如など、自分に対する感情の処理第三者に対しての表現のまずさに問題があるのではないかと考えられる。それらに対し職員は受け止め理解し、対処しなければならぬが、物理的にも時間的にも余裕は必要であろう。いずれにせよ職員、園生共乗り切っていかななくてはならない時でもある。

又、新年度を迎えるにあたり、新職員、実習生の来園、班編成、

居室の移動などなど変化の多い時でもある。生活のパターン、環境への変化に弱い人が多い中、これから半年位は、慣れる為の又は認知に要する時間に費やす人達も出てくるだろう。

ほんの一例であるが、新職員、実習生に対し非常に抵抗を示し、なかなか受け入れ様としない人もある。若い職員、実習生がかかわろうとすると、パニックという不適切な表現の方法で嫌であるという態度を示していた。パニックイコール不適切なもの、というとならえ方では職員も不適切であろう。パニックも大事なサインの一つである事には間違いはない。彼の場合別にかまってほしくもない時、若い職員や実習生から声を掛けられ、例えば「歯磨きに行こう」「作業に行こう」「洗濯物を畳みに行こう」など彼にしてみれば、ほぼ命令に近い状態であろう。いろんな人達、いろんな状況でふれあい、係わりあうのも経験であるが、自分より明らかに年下であろうという人達から指示を受ける腹立たしさも考慮してあげるべきではないかと感じる。指導の中にも何か矛盾を感じる時でもある。

私自身30歳を越え、もう中年になろうとしてきた。一緒に生活している園生もそれなりに年をとってくる。学校を卒業したての人達が指導員になり、又はなろうと当たり前前の様に指導する。その事は当然の事で、成長してもらうには経験していくであろうが、前提として目上の人には尊敬の念を忘れずに接していつてもらいたいと思う。若い人達を批判している訳でもないのだが、それぞれケースが違う様に慎重に対応してもらいたいと思うだけである。

自閉性障害は、コミュニケーションの障害と言われても過言ではないのでしようが、意外と人の話を聞いてない様で聞いている。人と近づかないようで側にいる、接触が苦手なようで積極的にかわつてくるなど、本や障害名から受けるイメージとは違う場面に出会うと思います。基本は仲良くなることとでしょう。人と人との距離の間隔などは動物的感という感じとる力も指導員には必要だと思えます。経験の中でつかんでいくことも多いものです。

退職にあたって

今村 由紀

三気の里が開所する三カ月前、（私は高校二年生でした。）マラソン大会で園の前を通り、この建物は何だろう？と思ったことをはっきりと覚えていきます。それから、短大の保育科に進み、二年生の夏、実習先一覽表に名前の載っていない三気の里を希望し、実習にきました。三気の里のみんなに引き寄せられるようにして出会ったと思います。

この八年間で沢山の事を学びました。私が教えるより、みんなから教わる事の方が多く、みんなに励まされ今日まできました。みんながいたから、みんなに出会えたから、今の私があると思います。その時は悩み、つらかった事も今はいい思い出、怒って泣いて笑った八年間は私の宝物です。友人もすばらしい経験も沢山出来ました。三気の里の皆さん、出会えてよかった。皆さんと一緒に過ごせて幸せでした。ありがとうございます。



『親父の存在』

小島 美貴子

息子英輔が三気の里へ入園して、早いもので七年が経ち、四月で八年目を迎えます。その間、父親が三気の里へ足を運んだのは、十指で数える位でしょう。息子の事に関心がない訳ではありませんが、三六五日二四時間仕事と言っている父親は、いつもポケベル・携帯電話をどこへ行くにも持って出かけてます。養護学校へ息子が通学していた時、私が免許を取ってから、特にいろんな行事への参加がなくなっていました。三気の里の保護者の方から、『英輔君はご両親のどちらに似ている』と聞かれ、でも知らないから比べようがない、と言う方が沢山いらっしました。『うちには母子家庭だから』と冗談交じりに返しています。

しかし、先に述べましたように、関心が無い訳ではないので、主人の名督の為に言っておかないと叱られるかもしれせんね。家では、歯磨き・入浴・髭そり…と三点が父親の仕事となっています。いつものところからかそうなっています。英輔も声かけで父親の所へ行き、何の抵抗(?)もなく歯磨

き等してもらっています。以上、父親と息子の関係を書いてみました。子どもにとって親とは一体何だろうなあ…と、今は『何でもしてくれる人』。でも『少々うるさい人』。いなくなったら懐かしがって、思い出してくるかなあ。泣いてくれるかなあ。…と、思い廻しています。でも、思い廻しても仕方ないか？主人と喧嘩しながらも、息子と三人四脚、元気で頑張っていきましょう。



有働 和美

の上達振、また自閉症・その他の障害を持った園生がどのような段階を得てベルを始めたか…ということ。本来のベルの演奏の仕方とは違ったやり方ですし、決して一流ではないけれど、私たちからしてみれば最高の演奏に仕上がってきたと思っっています。ということを説明したかったのですが…。

毎年参加されている方々には少しでも伝わったのではないのでしょうか。来年もステップアップできることを期待してゆっくりと頑張りたいと思います。最後に、運営に当たられた方々・ボランティアの皆さんありがとうございます。それから毎年のことですが、時間に遅れ皆さんを御待たせしたことをおわび致します。



食堂営業中

最近インフルエンザがはやっています。厨房にもとうとうその時期がやってきました。一人治っては一人ダウンするという状態で、とても忙しい日々が続きました。

栄養の話

「アサリ」



上村

アサリは鉄に加えて貧血と関係の深いビタミンB12は肝臓の働きを活発にするためにも欠かせません。その他、タンパク質・ビタミンA・ビタミンB2、カルシウムなども期待できます。他に、体内の余分の水分を取り、利尿を促します。また体の中にできたしこりを散らしたり、虚弱体質を改善したり、腰痛を緩和したりする効果があります。それから、今は一年中出回っていますが、産卵期の6月から9月ごろは有毒化することがあるので注意が必要です。堀尾

4 月 の 行 事 予 定

月	火	水	木	金	土	日
9日(木)4班レク・14日(火)1班レク 16日(木)5班レク・22日(水)3班レク 23日(木)2班レク	1	2	3	4	5	武彦くんの誕生日(25) 浩ちゃん <small>の</small> 誕生日(27)
6	7	8	9 4班レク	10	11日 保護者会 中嶋くんの誕生日(30) 上野さんの誕生日(30) ● スペシャル駅伝大会	12
13	14 1班レク	15	16 5班レク	17	18	19 裕くんの誕生日(24)
20	21	22 誕生会 3班レク	23 2班レク	24 / タンポポ編集日	25	26 開園記念祭 目 ゴールデンウィーク
27	28 (ゴールデンウィーク)	29	30	武彦くん・浩ちゃん・中嶋くん・麻衣ちゃん・裕くん誕生日おめでとう! 5月5日まで 11日スペシャル駅伝大会・保護者会 22日誕生会 26日開園記念祭 26日~5/5までゴールデンウィーク / 24日(金)タンポポ編集日		

※ 今月は帰宅バスは運行しません。



ポランティア通信

桜の開花宣言が、今年には熊本地方に一番最初に出されました。三気の里も平成10年度が新しく始動しました。今年度は頼りの綱だった石丸指導員が移動で、新たに元気の良い満原指導員と麻生貴美指導員が加わり、国岡を含めて3人でのスタートになりました。昨年度も主に保育系、幼児教育系、社会福祉系の短大、大学、専門学校生の方々が沢山訪れられました。

中には、他施設の職員の方や公立高校の数学の先生もおられました。特に学生さんの場合は原則的には併設されている地域交流ホームでの寝泊まりでの実習です。私達も胸に希望を抱いて三気の里へやって来られた学生方に充分な対応が出来る様へやる気をそぐ事にならない様)関わっていきたくと思います。どうぞ宜しくお願いします。最後になりましたが、4月26日(日)に十一周年の開園記念祭が行われます。ボランティアを募集しますので、もし御都合がつかれる方は御連絡下さい。お待ちしております。

〈ボランティアありがとう〉 国岡

☆生け花 西村 栄子

☆ブラッシング指導 森 隆子

☆散髪 源造 順



※敬称略

編集後記

楳本 「春うららかなこの季節に晴れて私は卒業です。」

ほーたーるのひーかーありまどのゆーきー♪

緒方 「(目録)一・カットに使うペン。一・感熱紙。一・ワープロお金がありませーんので、買ってください。以上」

山口 (答辞)「卒業!」「早春の光を浴びて私たち3名はこのタンポポ編集員を卒業します。」

一同 『卒業おめでとうございます。』

有働 「えーもーおー寂しくなるわね。」

石井 「山口君は3年だから解るけど楳本さんは3カ月だよ。早いんじゃないの?」

広瀬 「ていうかぁ私なんか3カ月で復活だし〜!」

来年度からは、松田・石井・有働・

広瀬・岩本・笠松でお送り致します。